



小倉港からミクニワールドスタジアム北九州を望む。高演色 (Ra80) LED投光器により、鮮やかな天然芝のグリーンが映える



ミクニワールドスタジアム北九州

所在地 / 福岡県北九州市小倉北区浅野
 主 / 北九州市
 PFI事業者 / 株式会社ウインドシップ北九州
 竣工 / 2017年1月

■業務分担
 設計 / 株式会社特設計
 建築工事 / 株式会社奥村組
 電気・設備工事 / 株式会社九電工
 運営管理業務 / 日本施設協会・美津濃 共同企業体



約39mの鉄塔に配置されたLED投光器



メインスタンド屋上に配置されたLED投光器



画像提供：北九州市

公園や緑道により回遊性を確保し、ペDESTリアンデッキによって駅小倉城口側の商業地にまで賑わいを広げる

ミクニワールドスタジアム北九州

MIKUNI WORLD STADIUM KITAKYUSHU

**民間の資金とノウハウを生かした
 “海ちか・街なか”スタジアム**

JR小倉駅新幹線口地区では、国道や都市公園などの都市インフラ整備や、北九州国際会議場・西日本総合展示場などのMICE機能整備等活性化に向けた取り組みが官民一体となって行われてきた。この地区に誕生した「ミクニワールドスタジアム北九州」は、集積する周囲の施設と連携して、若者をはじめとした幅広い世代を集客する核となることが期待されている。建設にあたっては民間の資金とノウハウを建設と運用に生かすPFI*という手法が導入された。これにより、民間事業者がスタジアムを建設した後も、

施設の維持管理・運営に加え、周囲のエリアマネジメントまでを15年間担う。

15,300人を収容するスタジアムは天然芝のフィールドを擁し、サッカー・ラグビーの公式試合に対応する。ナイター照明として、HID2kW相当のスタジアムビームLED投光器(狭角・中角)244台をメインスタンド屋上と2基の鉄塔に配置。照明シミュレーションにより均斉度の高い光環境を実現しており、Jリーグ基準であるピッチ内照度1,500lx以上をクリアし、全点灯では平均照度2,300lx以上。さらに、Ra80という高演色性を確保。また、臨海部であることから投光器は重耐塩害仕様としている。



※ペDESTリアンデッキ: 歩行者専用通路

ウェブサイトで
 動画をご覧ください。



主な設備
 ● スタジアムビームLED投光器
 (HID2kW形相当)加工品

*PFI(Private Finance Initiative): 公共施設などの建設・維持管理・運営を民間の資金や経営・技術的能力を活用して行う手法

